［省令第８条の４の５（1,000トン以上排出事業者用）］

様式第２号の８（第８条の４の５関係）

（第１面）

長野市 第 号 5.6.22 環境部 廃棄物対策課

産業廃棄物処理計画書

令和　5　年　6　月　20日

（宛先）長野市長　　荻原健司　様

提出者

住 所　長野市篠ノ井布施高田955番地3

氏 名　川中島建設株式会社

代表取締役社長　笠井 澄人

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 026-292-1341

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	川中島建設株式会社
事業場の所在地	長野市篠ノ井布施高田955番地3
計画期間	2023年　4月　1日　～　2024年　3月　31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	完成工事高　３２億４，８３０万円
③従業員数	７７名
④産業廃棄物の一連の処理工程	産業廃棄物発生 → 自社又は委託により運搬 → 中間処理(委託) 又は 最終処分(委託) → 再生品の有効利用

（日本産業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙　組織図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和　４　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管	汚泥(上・下水、建設、その他)
排 出 量	1,535.00t	0.10t	45.10t	20.80t	20.70t	1,149.70t
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
排 出 量	5.40t	384.70t				

（これまでに実施した取組）

・工場で建設資材を加工し、現場での端材の発生を抑制する。
・加工材料の搬入数量を適正に管理する。
・簡易梱包・再利用できる梱包材の使用を求め、梱包ごみの発生を抑制する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管	汚泥(上・下水、建設、その他)
排 出 量	1,530.00t	0.10t	45.00t	20.00t	15.00t	1,000.00t
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
排 出 量	5.00t	380.00t				

（今後実施する予定の取組）

・工場で建設資材を加工し、現場での端材の発生を抑制する。
・加工材料の搬入数量を適正に管理する。
・簡易梱包・再利用できる梱包材の使用を求め、梱包ごみの発生を抑制する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・コンクリートくず、ｶﾞﾗｽ陶磁器くずは骨材等として再利用を図る。
・木くず、金属くず、廃プラスチック類は、再利用のための分別を徹底する。
・作業所内での分別を行い、混合廃棄物となる割合の削減を図る。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・コンクリートくず、ｶﾞﾗｽ陶磁器くずは骨材等として再利用を図る。
・木くず、金属くず、廃プラスチック類は、再利用のための分別を徹底する。
・作業所内での分別を行い、混合廃棄物となる割合の削減を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和　４　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管	汚泥(上・下水、建設、その他)
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管	汚泥(上・下水、建設、その他)
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和　４　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管	汚泥(上・下水、建設、その他)
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管	汚泥(上・下水、建設、その他)
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和　4　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理	汚泥(上・下水、建設、その他)
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理	汚泥(上・下水、建設、その他)
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和　4　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、しゅん	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡プチロール含	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	汚泥(上・下水、建設、その他)
全処理委託量	1,535.00t	0.10t	45.10t	20.80t	20.70t	1,149.70t
優良認定処理業者への処理委託量	4.10t	0.10t	40.50t	13.50t	12.50t	
再生利用業者への処理委託量	1,533.80t	0.10t	35.90t	18.70t		1,149.70t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
全処理委託量	5.40t	384.70t				
優良認定処理業者への処理委託量		27.30t				
再生利用業者への処理委託量		366.30t				
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	汚泥(上・下水、建設、その他)
全処理委託量	1,530.00t	0.10t	45.00t	20.00t	15.00t	1,000.00t
優良認定処理業者への処理委託量		0.10t	45.00t	20.00t	15.00t	
再生利用業者への処理委託量	1,530.00t	0.10t	20.00t	20.00t		1,000.00t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
全処理委託量	5.00t	380.00t				
優良認定処理業者への処理委託量	5.00t					
再生利用業者への処理委託量	3.00t	380.00t				
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						

（今後実施する予定の取組）

※事務処理欄

別紙１

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処理事項			産業廃棄物の種類（実績値・計画値）												合計
			がれき類（コンクリがら、廃アスファ	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック（廃タイヤ、発泡スチ	金属くず	建設混合廃棄物（安定型、管理型）	汚泥（上・下水、建設、その他）	紙くず	木くず					
排出抑制に関する事項		前年度排出量（実績）	1,535.00t	0.10t	45.10t	20.80t	20.70t	1,149.70t	5.40t	384.70t					3,161.50t
		本年度排出量（計画）	1,530.00t	0.10t	45.00t	20.00t	15.00t	1,000.00t	5.00t	380.00t					2,995.10t
自ら行う（行った）再生利用に関する事項		前年度実績													
		本年度計画（目標）													
自ら行う（行った）中間処理に関する事項	自ら行う（行った）熱回収の量	前年度実績													
		本年度計画（目標）													
	自ら中間処理により減量する（した）量	前年度実績													
		本年度計画（目標）													
自ら行う（行った）埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		前年度実績													
		本年度計画（目標）													
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	1,535.00t	0.10t	45.10t	20.80t	20.70t	1,149.70t	5.40t	384.70t					3,161.50t
		本年度計画（目標）	1,530.00t	0.10t	45.00t	20.00t	15.00t	1,000.00t	5.00t	380.00t					2,995.10t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	4.10t	0.10t	40.50t	13.50t	12.50t			27.30t					98.00t
		本年度計画（目標）		0.10t	45.00t	20.00t	15.00t		5.00t						85.10t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	1,533.80t	0.10t	35.90t	18.70t		1,149.70t		366.30t					3,104.50t
		本年度計画（目標）	1,530.00t	0.10t	20.00t	20.00t		1,000.00t	3.00t	380.00t					2,953.10t
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績													
		本年度計画（目標）													
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績													
		本年度計画（目標）													

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。